

市議会だより



～男鹿から東北に力を！～

秋田大学男鹿なまはげ分校開設記念講演会

◆ 9月定例会審議日程 ◆

26日	20日	19日	18日	17日	13日	12日	11日	10日	9月6日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
議会運営委員会	予算特別委員会	常任委員会・分科会	常任委員会・分科会	決算特別委員会	決算特別委員会	予算特別委員会	本会議(議案質疑)	本会議(一般質問)	本会議(議案上程)
本会議(表決)									公営企業会計決算(表決)

記事内容

8月臨時会・9月定例会・10月臨時会から	… P 2～P 3
議会報告会	… P 3
決算特別委員会	… P 4～P 5
一般質問	… P 6～P 9
議案質疑	… P 10
予算特別委員会	… P 10
常任委員会	… P 11
編集後記・陳情等	… P 12

10月臨時会 ～台風18号被害 7億円余～

災害復旧費 3億2,710万円を計上し可決!!

8月臨時会 9月定例会 10月臨時会

平成25年8月臨時会は、8月7日に招集され、1日の会期で開かれました。平成25年9月定例会は、9月6日に招集され、26日までの21日間の会期で開かれました。定例会初日には、8月臨時会で継続審査としていた、病院、上水道及びガスの各事業会計決算について、全会一致で認定しました。また、平成24年度男鹿市一般会計及び各特別会計決算の認定など、14議案が市長から提案され、審議の結果、すべて全会一致で可決・認定したほか、最終日には、議案案3件を可決し閉会しました。

平成25年10月臨時会は、10月18日に招集され、1日の会期で開かれました。この臨時会では、先の台風18号被害に伴う関係予算を措置した、平成25年度男鹿市一般会計補正予算（第5号）が市長から提案され、審議の結果、全会一致で可決し閉会しました。

8月臨時会

●「海フェスタおが」について

市長より、7月13日から28日までの16日間開催された「海フェスタおが」は、5市町村合わせて約93万3000人の来場があったと報告された。海フェスタにご協力・ご尽力いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

●「大相撲男鹿場所」について

大相撲の力士と日本相撲協会関係者の総勢252人が本市に宿泊し、8月2日の当日には、県内外から2691人の来場があり、会場では多くの観客の歓声が響き渡っていた。収支決算では、約385

9月定例会

●「秋田大学男鹿なまはげ分校」の開設について

市では、秋田大学と平成23年2月17日に、ジオパーク活動を通じた地域振興、秋田大学の教育研究資源や学生力を活用した地域教育力の底上げを行うことを目的とした連携協定を締結した。「秋田大学男鹿なまはげ分校」は、この目的を達成するための拠点と

して、首都圏の大学から学生を受け入れ、勉強合宿等を行うことにより、交流人口の増加を目指すこと、本市における防災・減災について調査研究すること、本市が有する伝統的な食文化を継承すること等について取り組むとしている。9月30日の開設記念行事では、秋田大学混声合唱団工イス・クアアアの歌と映画監督、若松節朗氏の記念講演が盛大に開催された。

●観光の状況について

本年6月、7月におけるホテル・旅館等の宿泊数は、6月が1万7725人、7月が1万5589人で昨年と比較し、6月が1648人増、7月が560人増との報告があった。日帰り傾向が強まり、7月の宿泊に関しては、海フェスタ効果は、あまり感じられない結果となったが、今後の発展のステップとして、鋭意努力していただきたい。

10月臨時会

●「台風18号被害状況」について

市長より、9月16日の台風18号により被害を受けた農林水産業施設及び公共土木施設等の災害復旧費を措置するため、3億2710万円を追加した平成25年度男鹿市一般会

可決した主な議案

9月定例会

〈決算認定〉

●平成24年度男鹿みなと市民病院事業会計決算

●平成24年度男鹿市上水道及びガス事業会計決算

●平成24年度男鹿市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算

〈補正予算〉

●一般会計予算（第4号）

●国民健康保険特別会計予算（第2号） 他2件

〈条例〉

●男鹿市子ども・子育て会議条例の制定

●男鹿市介護保険条例の一部改正

●男鹿都市計画下水道受益者負担に関する条例の一部改正

●下水道事業等の地方公営企業法適用に係る関係条例の一部改正 他5件

〈議員提出議案〉

意見書3件

10月臨時会

〈補正予算〉

●一般会計予算（第5号）



計補正予算（第5号）が提案された。
また、当局から
【総務企画部関係】では、共聴施設の島田三ツ森地区テレビ共同受信ケーブル損傷や市有地の旧男鹿中小学校、和幸苑法面崩壊等362万円。
【市民福祉部関係】では、油井からの油流出による男鹿中地区の水稲被害625万円。
【産業建設部関係】では、治山施設の保安林や山地の法面崩落等。北浦、五里合、若美地区のため池堤体崩落等や北浦、船川地区の林道の路肩崩壊等2路線。農業用施設の農道路肩崩壊や水路埋塞等と農地の法面崩落等その他農地や農作物等に被害を及ぼした。道路施設では、法面、路肩崩壊等37路線。河川施設では、護岸崩落等14河川と総合運動公園の法面崩壊もあり、6億5073万円。
【教育委員会関係】では、脇本城跡、若美中央公園球場の法面崩壊で、4025万円。
【企業局関係】では、北浦真山地区ため池の水道施設と方ス施設の125万円。
【その他】物置小屋損壊、ブロック塀倒壊等で200万円。被害総額は、7億410万円にも及んだとの報告があった。

議会報告会 9 地区で開催！



市民に分かりやすい議会を目指して、昨年度より始まった議会報告会は8月27日から9月4日までの間、議員が3班に分かれ、市内9地区で市民103名の参加をいただき開催されました。初めに平成25年度の事業内容・予算内容を中心に議会側から報告した後、膝を交えての活発な意見交換が行われました。

市民の皆様からいただいたご意見やご質問のうち、市当局に関する事項については、昨年同様、若美総合支所や各出張所等にて閲覧できます。ここでは、議会に対する主な意見・要望の内容についてご報告します。

【議会報告会に関する事項】

- 議会報告会開催について参加者が少ない。PR不足ではないか。
- 報告内容を資料として提示できないか。
- 地元議員が欠席している理由について。

【議会運営に関する事項】

- 市長等特別職や職員は給料減額している。議員も定数や報酬削減をすべきではないか。

【市の政策等に関する事項】

- 「海フェスタおが」について、一般財源がほとんどだが、費用対効果などについて議会では検証しているのか。
- 浜間口地区の国道101号の整備促進について、議会でも力を入れて欲しい。
- 牧野交差点から、なまはげラインへの道路沿線にごみの不法投棄が多いが対策等について、議会の会派などで調査等はしているのか。
- 最近、若者の引きこもりが多いと思う。議会でも施策の提案をして欲しい。
- 市の少子高齢化に対して、議会として具体的提案等なされているか。
- 市内に老健施設は増えたが、年金収入だけの高齢者は利用できない。議会から市に働きかけて欲しい。
- 議会の中で空き家対策についての議論はなかったのか。

貴重なご意見ありがとうございました。早速 議会活動の参考にさせていただきます。

男鹿みなと市民病院事業会計
男鹿市上水道及びガス事業会計

決算特別委員会

8月臨時会では、平成24年度の病院、上水道及びガス事業会計決算について審査するため、議員9人で構成する決算特別委員会を設置、付託し、継続審査としました。その後開催された委員会では、審査の結果、いずれも全会一致で認定しました。決算の概要と質疑から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

決算特別委員

- | | | | |
|-----|----|----|----|
| 博積郎 | 正穂 | 木松 | 船小 |
| 志通誠 | 寛利 | 野浦 | 佐高 |
| 紀勝彦 | 清敏 | 藤仲 | 高三 |
| | | 谷田 | 佐古 |
| | | 田敏 | 米 |
| | | | 中 |
- (◎委員長 ○副委員長)

【概要】

病院事業の財政状況は、総収益25億2889万2537円で、前年度より1億3439万7766円の増、総費用25億5927万4559円で、前年度より6280万7867円の増となったもので、この結果、単年度収支で3038万2022円の純損失となりました。不良債務については、前年度より5604万1796円減の1億3822万8911円で、経営健全化計画との比較では、4122万4089円の減少となりました。

収支で2712万7188円の純利益となりました。ガス事業の財政状況は、収益的収支において収入では、5億9789万2704円、支出で5億7901万7315円となり、この結果、単年度収支で1887万5389円の純利益となりました。

入院患者の減少について

質疑 入院患者が減少している要因と、今後の患者数を増加させるための考えについて伺います。

答 ここ数年で市内のショートステイを含めた老人施設等が増加し、退院後の受け入れ態勢が充実したことが主な要因と考えます。

また、入院患者数は、平成13年度から15年度が最も多く、1日平均約160人でしたが、その後減少しています。その

経営状況好転の要因について

質疑 収益が増加している診療科とその内容について、また、経営状況が好転している主な要因と経営健全化計画における今後の見通しについて伺います。

答 平成24年度に整形外科医を1名増員し、1億1800万円の増収となったほか、眼科、泌尿器科の収益が安定したことなどにより、平成24年度の増収につながっています。

また、経営状況好転の要因は、医師の減少によるものと考えており、1人の医師が診察できる患者数は限られているため、医師の減少に伴い患者も減少しました。

防災に対する課題について

質疑 防災・津波に対する訓練実態と、訓練実施により出てきた課題等について、また、建物の耐震性や補強の必要性について伺います。

答 昨年末、県が発表した沿岸部の津波の高さ約10メートルを想定した避難訓練を今年実施しました。建物の4階を避難場所とし、中央階段と避難階段を使って患者を避難させました。また、停電時の連絡体制の強化として、院内

の携帯電話を優先回線として備えています。課題としては、地震、津波の早期情報収集への対応、飲料水や食料品などの備蓄品の整備や救助ヘリコプターの活用のほか、夜間には職員等が少なくなるため、患者の避難が困難となるおそれがあることから、今後の訓練でより良い方法を見つけ出していきたいと考えています。また、建物の耐震性については新耐震基準で建設されたものであるため問題ありません。

水質調査について

質疑 滝ノ頭の水量と他の浄水場を含めた水質調査について伺います。

答 滝ノ頭は、1日約2万5000トン湧水しており、昔と比べ水量が極端に変動していないと認識しています。滝ノ頭の水質調査は、水道法で規定している検査を年1回実施しているほか、農薬の検査も年1回、人や動物の下の痢の原因になる原虫の検査については毎月実施しており、いずれも異常ありません。他の水源についても年1回全項目を検査していますが、どの水源も問題ありません。

また、経営状況好転の要因は、医師の減少によるものと考えており、1人の医師が診察できる患者数は限られているため、医師の減少に伴い患者も減少しました。

一般会計及び各特別会計

決算特別委員会

9月定例会では、平成24年度一般会計及び各特別会計決算について審査するため、議員9人で構成する決算特別委員会を設置、付託し、審査の結果、いずれも全会一致で認定しました。

決算の概要と質疑から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

決算特別委員

- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| 三 晴勝 | 謙 幸富 | 田 部山 | 中 戸 島 |
| 郎 彦儀 | 次 文直 | 田 井 浦 | 安 土 吉 |
| 寿 昭弘 | 桂 信金 | 田 橋 | 三 蓬 |
| | | | ○ 船 |
- (◎委員長 ○副委員長)

【概要】

平成24年度一般会計の決算状況は、歳入183億5072万3768円、歳出179億1623万9681円となつたもので、歳入歳出差引残額は、4億3448万4087円となりました。このうち継続費及び繰越明許費の財源として1億321万5785円を翌年度へ繰り越したため、実質収支は3億3126万8302円の黒字決算となりました。

また、健全化判断比率の4指標は、実質赤字比率、連結実質赤字比率とも黒字決算なので生じない状況となつており、実質公債費比率は前年度と比較し0.4ポイント減の13.8%、将来負担比率は、前年度と比較し12ポイント減の135%となつています。

経常収支比率の悪化について

質疑 経常収支比率悪化の要因と改善方法及び行財政改革の主要テーマについて伺います。

答 経常収支比率は93.3%で、前年度より15ポイント高くなつており、その要因は「国有資産等所在市町村交付金」の減少と、社会保障費や生活保護費などが増加したことによるものです。

今後は、税込確保や物件費の節減に努めるなど、歳入と歳出の調整を地道にやっていきます。また、第3次行政改革の主要テーマは組織改革と定員管理と考えており、すべての事務事業を再点検し経費節減に努めます。

ジオパークの活用について

質疑 ジオパーク関連の観光客数と、今後の具体的な活用等について伺います。

答 日本ジオパーク認定後の実績として、行政視察や研修、見学会など59回実施され、2万6831人が訪れていました。今後は看板などを整備し、新たな観光資源として活用を図ります。

教育面でも地質資源の理解を深めるため「男鹿市ジオパーク学習センター」を開設しました。昨年8月の開設以来、平成25年8月までに3421人の来場者がありました。

また、現在大学の専門家も調査、研究している年縞についても情報提供していただき、子どもたちの教育材料として活用していくほか、恵まれた風景や食など、自然豊かな男鹿の資源に、ジオパークの知的感覚をからめることで魅力アップにつながると考えています。

市税不納欠損額について

質疑 市税の不納欠損額と収入未済額及び徴収体制について伺います。

答 一般税の不納欠損額は、前年度と比較し約1860万円増、国民健康保険税は、約3200万円増となつています。

増加した理由は、平成20年度に「収納対策室」を設置し、収納の強化を図るとともに、滞納者の生活状況や財産状況を調査するなど担税力調査を強化した結果、平成21年度に執行停止した件数が例年より多く、執行停止後3年で納税義務が消滅することから、平成24年度において不納欠損額が増加しました。

市税及び国民健康保険税の収入未済額は、前年度よりそれぞれ収納率が向上したため、計約1億2900万円減少し

公民館活動状況について

質疑 公民館活動の考え方と、地区公民館及び中央公民館の活動状況について伺います。

答 公民館は社会教育活動推進の実践的な窓口であり、地域住民の生活環境や学習ニーズに応えるべく、地域と一体となつた活動の展開に努めています。今後も各公民館間の連携を取りながら、公民館活動の充実を図っていきます。

また、地区公民館では、生涯学習や各地区の文化・スポーツ関係事業を実施しており、中央公民館では、市民文化会館と一体となり、自衛隊吹奏楽団による演奏会などを自主事業として開催しています。

徴収体制は11名で新規滞納者の抑制を重点施策として取り組んでおり、今後も所得や預貯金調査をはじめ、生活状況などを徹底的に調査し、場合によっては滞納処分を行うなど適切に対応し、収入未済額の縮減に努めます。



佐藤 誠 議員

人口減対策は

質 市の人口減に対する目標と対策について伺います。

答 国立社会保障・人口問題研究所の平成20年12月公表の将来人口の推計値を上回ることを目指しています。将来予測に対し、男鹿市総合計画では、雇用対策と地場産業の振興、子育て支援と少子化対策、定住環境の整備と保全、教育環境の整備などの施策事業の相乗効果から少子高齢化、人口減社会に対応してまいります。

水産物ブランド化の推進を

質 「海産物なら男鹿」のイメージを守る対策について伺います。

答 水産物のブランド化としては、マダイ、寒ブリ、アマダイに男鹿産の産地標示タグ装着に取り組み、石焼料理や鯛まつりで提供されています。また、地元団体が「ジオご膳」や「鮭やハタハタ等の番屋料理」などを創作しており、地元素材を生かした料理を提供する機会を増やしてまいります。

利便性のよい公共交通体系に

質 公共交通体系の見直しの進捗状況と見直しについて伺います。

答 現在、民間バス5路線と市単独運行バス6路線運行していますが、利用者減や県の補助制度見直しにより、民間バス路線のうち3路線が補助対象から外れ、市単独補助で維持しており、新たな運行形態構築が必要です。7月には専門業者と計画策定業務委託契約を締結し、これまでの連携計画の考察と現状の比較等のほか、先進事例の検討を行っています。なお、デマンドタクシーや循環バスの実証運行は、全国各地の先進事例を参考にし、可能性について検討するよう指示しています。

鶴ノ崎海浜公園の安全対策を

質 鶴ノ崎海難事故対策として危険箇所を教える看板は可能か。秋田海上保安部では、遊泳や離岸流への注意などを呼びかけています。市では、海浜公園内に水難事故防止と密漁防止看板3基を設置しており、今後、看板の表示内容やトイレへの設置について県と協議してまいります。

児童の安全確保が重要

質 船川地区小学校統合についての比較検討について伺います。

答 学校の位置は、自然災害への安全性、通学距離のほか、周辺地域の環境など総合的に判断すべきと考えています。船川南小学校校舎は安全を確保できないため選択肢としなかつたものです。船川第一小学校は耐震補強し、統合することで児童の安全を確保できることから、同小学校を統合校として提案しています。今後、船川南小学校保護者のご理解をいただき、協力を進めてまいります。



米谷 勝 議員

市民サービスの向上施策について

質 市民が利用する窓口サービスの環境整備にどのように取り組んでいるのか伺います。

答 庁舎内の案内表示は、1階に総合窓口の案内、1階から3階に庁舎案内、課名及び業務内容の案内表示。高齢者や障がいのある方へは、座って相談ができるよう低い受け付けカウンターに改修、老眼鏡の備え付けや、車椅子2台、身体障がい者用駐車スペース2台分の確保、身体障がい者用トイレ、オストメイト用の設備を設置。子ども連れへは、1階に赤ちゃんの駅、5階に子どもの駅を設け、授乳やおむつ交換所として利用いただけるようにしています。市民ホールに子ども用の遊び場を設けています。相談室は福祉、納税、消費者生活指導などの相談のために、1階に3箇所の相談室を設け対応しています。

市民の健康増進施策について

質 ご高齢の方が聞こえにくいと聴力検査の導入について伺います。

答 特定健診検査項目は法に定められており、聴力検査は実施していません。他の都道府県では実施しているところもあることから、研究させていただきます。認知症予防対策として効果を上げていく脳健康教室を開講することに伺います。

質 国では、認知症早期支援体制の強化をあげており、市でも福祉部門、保健部門に加え、男鹿みなど市民病院とも連携を図りながら、認知症予防に取り組んでまいります。

答 B&G海洋センタープールの温水化による、地域住民、高齢者の健康増進への活用について伺います。

質 同プールは、建設から30年以上経過し、老朽化が進んでおり改修を考えていますが、温水化は想定していません。健康増進への対応については、専門家からいろいろな情報をいただいて、健康寿命に効果のあるものから進めたいと考えています。

答 光通信の活用について

質 市内の光通信サービスを提供する工事が完成している。市民に何のサービスを提供するのか伺います。

答 地域間の情報格差の解消を図ったもので、市内全域で光ブロードバンドサービスによるインターネット接続が可能となります。今後、電子住民窓口、在宅健康管理や高齢者見守り安否確認、公共施設の予約サービス等の導入について研究してまいります。



安田健次郎 議員

環境問題について

近頃、小さながけ崩れが多くなっています。また、道路の草刈りも2回程実施しているようですが、草の繁茂期は観光地としても相応しくないと考えます。もう少し回数や木や枝も含め、きめ細かい対応が必要ではないか。

がけ崩れの対応については、被害の大小にかかわらず、市が窓口になって県に連絡し、現地調査を行っています。また、草刈りについては、県道は、市内を2ブロックに分け年1回から3回程行っていると伺っています。市道は、幹線道路を主体に年2回実施しており、草の繁茂状況により随時、実施しています。

農業支援対策について

今年の長雨の影響で、特に葉タバコの被害が予想されています。結果次第ですが、当然資金対応や経営支援が必要と考えます。鳥獣被害で野菜農家や、家庭菜園をしている方々も大変な被害に遭っています。今では家の中まで入

ってきた例もあり、市としても対策を強化すべきと考えるがどうか。

葉タバコ被害については、出荷時の検査状況により検討してまいります。鳥獣被害対策については「男鹿市鳥獣被害防止計画」を策定し、市内3猟友会等と男鹿市鳥獣被害防止対策協議会の計画に沿って、猟友会の会員に罾猟免許の取得や登録経費の一部を助成することとしています。なお、今年7月からの1カ月間、3地区に11基の箱罾を設置しましたが、結果はアナグマ1頭でした。

灯油代や除雪費の補助について

物価が上がりはじめ、特に石油関係が高騰しています。今年の冬も灯油が値上がりしたり、大雪の際には社会的弱者の方々への灯油代及び除雪費を補助すべきと考えるがどうか。

今後の灯油価格の推移や社会情勢、国・県の動向を注視してまいります。除雪については、降雪の状況を見極めてまいります。

学童保育について

学童保育指導員は、ほとんどが臨時やパート扱いとなっています。保育士の雇用条件も改善されたことから、指導員の雇用改善も実施すべきと考えるがいかか。

指導員の勤務時間は、通常5時間程度であり、男鹿保育会の嘱託職員です。指導員補助は臨時職員として雇用されています。



三浦 桂寿 議員

イベントについて

①「海フェスタおが」について、PR不足との声が多く聞かれました。市民総出のイベント感を伝える情報発信の充実が必要ではないか。②来場者数、宿泊者数、経済波及効果はどのくらいか。③大相撲男鹿場所について、市民の来場者数と相撲関係者の宿泊による経済効果はどれくらいか。④男鹿日本海花火の駐車料金を値下げする考えはないか。

①今後とも、各種催しの内容により関心を高めるよう企画してまいります。②市内会場への来場者数は約32万9千人で、7月の宿泊者数は1万5589人、昨年同月との比較で560人増となっています。経済波及効果については、現在試算中です。③市民が購入したチケットは1457人分です。経済効果は、約1800万円、うち相撲関係者宿泊料は、約331万円です。④駐車場利用台数は、1914台で、収入は事業費の約10%の382万7000円。料金値下げについては、実行委員

会で協議されるものです。

豪雨災害対策について

豪雨災害時に行政と市民が、防災機能を最大限発揮できるような対策を講じているのか伺います。

土砂災害発生時等の伝達マニュアルを作成しています。避難勧告等の住民への伝達は、防災行政無線、防災情報メール通信等のほか、現地で広報車による巡回放送を行います。また、的確な情報把握のため自主防災組織、消防団、関係機関等と緊密に連携し対応します。

田中、比詰地区難視聴対策について

総合体育館付近と比詰地区で地上デジタル放送の難視聴地域があるが、共聴施設整備について伺います。

共聴施設運営等について、8月27日に同地区を対象に説明会を開催しました。今後、正確な事業費を積算し、再度個人負担額を示したうえで、加入者の把握に努めます。

人口減少対策について

人口減少に歯止めをかける対策について伺います。様々な施策の相乗効果から少子高齢化、人口減社会に対応してまいります。



船木 正博 議員

市民アンケート調査から

質 市民の考えを市政に活かし、市民が共有できる手立ては、

答 町内会長等市政懇談会、50を超える団体と意見交換会、団体の長との地域活性化懇談会を定期的に開催し、市政に反映させるよう努めてまいります。

質 男鹿総合観光案内所の道の駅文化について協議中であるというが、今後の進展は、

答 登録要件を満たすための諸整備に要する経費を試算し、今後、財政状況と合わせ、これに要する経費と道の駅文化の投資効果について検証してまいります。

町内会長の活動について

質 町内会長の活動は多岐にわたるが、負担が多すぎるようです。市では適正な活動のための指導、

答 関り方の指針を持って当っているのか。また、職務遂行中に負傷したなどの事故等に遭遇した場合はどのように対処するのか伺います。

質 町内会への指導、関り方の指針は定めていませんが、町内会交付金制度により支援していません。また、事故や負傷については

保険加入が考えられます。加入については各町内会の判断で町内会交付金を活用していただきたい。

男鹿音楽村事業構想について

質 「男鹿サウンドビレッジ」等の音楽と観光をマッチングさせた「音楽村」構想を振興策として取り入れ、取り組むべき課題と

答 考え提案します。今、新しい発想で将来展望に立った政策が必要だと思いがいかか。

質 芸術文化の振興については、男鹿市総合計画の中に市民活動の支援、拠点となる文化施設の

答 充実活用を掲げ、芸術自主活動助成金制度により、市内音楽愛好者へ支援しながら芸術文化の香りのする男鹿半島の実現を目指してまいります。

門前地区の観光振興は

質 門前地区では、999段の石段や五社堂という強力な観光資源を持ちながら集客は乏しくな

答 る一途で、観光業は存亡の危機にあるとさえ言われています。市長はこの現状をどう把握し、門前地区の観光振興策をどう考えているのか伺います。

質 イベント開催時には、門前地区への宿泊も考慮しています

答 が、基本的には民間が独自で掘り起こさなければ発展はないものと考えています。行政も支援しますが、地元の観光に携わる方々のアイデアで観光客を呼び込む必要があると考えています。



三浦 利通 議員

行財政改革の推進について

質 1年前倒しで、第3次行財政改革をやらなければならぬ理由と狙いは何か。今後の中長期的な財政見通しについて、主たる財

答 源確保、概算見込みを伺います。行政改革は、時代の変化に対応するため継続的に取り組むことが肝要であることから、第3

質 次行政改革大綱を策定するものです。財政見通しでは、国有資産等所在市町村交付金が、毎年6500万円ずつ減額していくことや、5年後には地方交付税が6億円減額されます。一方、歳出では、扶助

答 費等が高齢化の進行により増加するため、平成30年度見込みで10億4300万円と、平成25年度との比較で約5100万円増加します。

各種イベント推進について

質 一部市民から「最近イベントが多過ぎるのでは」という声

答 が出ています。イベント実施が観光客の宿泊や消費に数字的にはつながっておらず、今後イベントを絞り込み、整理しながらやっていく

必要があるのではないかと。

答 イベント実施については継続性が大事であり、イベント実施の様々な経験を生かして、次の新しいことに向かっていってほしい。この後「杜の賑い秋田・男鹿」、来年の「国民文化祭あきた」等が予定されています。イベントの選定については、目的や経済効果等を勘案し決定します。

市民所得の向上策について

質 他の地域の経済状況が良くない中、男鹿市においてはそのままで至っていないと思

答 うが、どのように分析しているのか。その中で地場産業の農業、漁業、観光の構築策を見直す戦略、具体的には消費が拡大しているコメの加工食品、カット野菜の生産工場、CAS冷凍事業の具体化等の可能性を求めていくのはどうか。

質 本市の市民所得は、県平均を下回り、県内25市町村中16位となっております。地場産業振興策として、こだわり農産物の生産のほか、販売への支援や小規模土地

答 改良事業等を推進し、農業・農村を維持すること。また、冷凍保存技術については、具体的な組織設立の動きもあり、出来る限りの範囲で支援するなど、付加価値をつけるべく6次産業の推進と観光においての交流人口、宿泊客増を図ります。



佐藤 巳次郎 議員

粗大ごみ有料化はストップを!!

粗大ごみ有料化は3年目となつているが、有料化の矛盾が明らかになっている。業者に支払う収集業務委託料は、無料時の21年度860万9000円、22年度930万9000円に対し、有料化後はごみの量が3分の1程度に減少しても23年度1114万4000円、24年度991万円となつている。全く費用対効果から言うなら何とも無駄な有料化事業である。無料化時のごみの収集量と有料化後の収集量の比較について伺います。有料化反対の市民の意思表示の表れであり、来年度から無料化に戻すことが当然と考えるが、市長の見解を伺います。

答 家庭系粗大ごみの搬入量は21年度が約330トン、22年度が約457トン、有料化後の23年度は約95トン、24年度は約123トンで、22年度との比較では23年度が約361トン、24年度が約344トンの減となっております。また、粗大ごみの搬出量、不法投棄の状況、経費等については、これ

までの3年間の実態を精査しますが、粗大ごみ処理の有料化については継続してまいります。

海フェスタの経済波及効果は計画より大幅ダウンではないか

「海フェスタおが」の経済波及効果等については、10月末に完成する報告書の中で産業連関表による試算を進めていると答弁しているが、海フェスタ実行委員会の基本計画書によると、日帰り客1人3000円、宿泊客1人1万5500円、主催者事業費1億4000万円と計算すると経済波及効果は、45億6250万円と見込んでいます。これに沿って、男鹿市分を計算すると、日帰り客32万9000人に1人の消費額3000円で9億8700万円、宿泊客1万5500人に1人の消費額1万5500円で2億4025万円、主催者事業費1億4000万円の合計13億6725万円となります。これはあまりにも経済波及効果が見込みと比べ少ないと思うがどうか。

答 基本計画策定の段階では、おおよその単純な計算で見込んでいたものです。いろいろな波及効果があることから、可能な限り信憑性のある経済波及効果をはじき出したいということで、現在産業連関表によって算出しているところ です。



土井 文彦 議員

電子行政の推進について

自治体の透明性・市民参加・官民連携を基本としたICT化によるオープンガバメントは、行政と市民と議会それぞれが取り組む必要がある。

質 昨年度の行政全体の紙使用料は、318万円。その他、コピー料について伺います。

答 コピー機使用料は、722万2004円となっております。

質 議会資料の男鹿市総合計画や予算書等の印刷製本費と、その他経費の合計について伺います。

答 印刷製本費、用紙代及びインク代等が必要な資料を含めた合計は、267万1809円となっております。

質 ICT導入によるペーパーレスでの経費削減、タブレット端末利用で議論のレベルアップを図る等の効果があると考えが見解を伺います。

答 市で作成している多くの資料を電子化することで事務の効率化が図られます。今後、ICTはどんどん進めていくべきものとは

理解しています。導入する際、議会のご意見をいただきながら進めていきます。

ICT教育について

質 男鹿市のICT教育の考え方を伺います。

答 ICTは、児童生徒の情報リテラシーの向上や、教科指導等における確かな学力の育成において有効な手段の一つと捉えています。

質 国での「フューチャースクール推進事業」を経て、近々全国各地を対象に1人1台のタブレット端末、電子黒板等が整備された拠点設置が予想される。これに対しての情報収集と準備をしているか伺います。

答 平成26年度概算要求の中に、新規事業で「情報通信を活用した新たな学び推進事業」をあげており、本市での活用を見据え、詳細について情報収集してまいります。

【その他の質問】

●芸術文化村について

男鹿市の芸術家を一堂に会した発表・交流・継承の場の設置で、交流・定住人口を増やす手立てとなるのではないかと



※ICTとは? (Information and Communication Technologyの略) = 「情報通信技術」



子ども・子育て会議
設置について

質疑 子ども・子育て支援法に基づき「男鹿市子ども・子育て会議条例」を制定するということだが、市としてこの条例に何を求め、どのようなメリットがあるのか。必要性和経緯について伺います。

答 子ども・子育て支援法は、平成24年8月に公布され、その中で子ども・子育て会議の設置についてうたわれています。任意で子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図ることとしており、同法では、子ども・子育て支援事業計画の策定、施策の実施状況を調査、審議するため審議会または合議制機関を設置するよう努めることとなっています。

質疑 会議の構成メンバーは従来のようなイエスマン的な

集まりではなく、率直な意見を述べる方々を選任すべきでないか。さらに、何を期待して進めようとしているのか伺います。

答 委員は、子どもの保護者、事業主の代表、労働者の代表のほか、学識経験者から市長が任命し、10人以内で構成することになっています。また、幼児教育、保育、子育て支援のニーズ、それぞれの事業実施のあり方等を審議し、意見を出してもらえりよう人選には配慮していきます。

財政指数の状況
について

質疑 決算審査において監査委員から財政指数の悪化傾向について指摘されているが、この要因は何か。また、どう改善していくのか伺います。

答 経常収支比率が、平成24年度は93・3%で、昨年度から15ポイント悪化しています。この主な要因は、生活保護費の増加や「国有資産等所在市町村交付金」が、約3億6000万円減額されたことが大きく影響しています。今後、行政改革の中で事業の見直し等を行い財政指数の改善に努めていきます。

予算特別
委員会

今定例会において、全議員で構成する予算特別委員会に付託された、一般会計補正予算等について審査し、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。
一般会計補正予算の質疑された中から主なものを取り上げ、その要旨を掲載しました。

地場産品販売施設の併設を

質疑 男鹿総合観光案内所の「道の駅」登録に係る経費内訳と、同施設への物販施設整備の可能性について伺います。

答 「道の駅」登録は、駐車場、トイレ及び公衆電話が24時間利用可能であることや、情報提供のため案内サービス施設に案内人を配置することなどが要件となっています。登録のための経費内訳は、公衆電話設置に25万5000円、光熱水費317万円などのほか、照明灯整備費1500万円の合計2050万円程度と試算しており、この後、登録について国と協議してまいります。また、地場産品販売機能の併設については、現状ではレストランやお土産販売スペースがあり、ある程度は充実しているものと考えています。他市町村の道の駅と比較した場合、農林水産物販売所がないことから、JA及び商工会を通じて意向調査したと

投票率向上対策を

質疑 7月に行われた参議院議員選挙における本市での期日前投票率と、投票率を向上させるための対策について伺います。

答 参議院議員選挙の本市での最終投票率は55・88%で、前回の同選挙と比較し9ポイント程度下がっています。期日前投票については、全ての投票者数を100とした場合、約65%の方が投票を済ませていたこととなります。また、本市では平成22年に投票所の再編を実施し、半径2kmに1箇所設置しており、国の基準より緩和されていますが、70歳以上の高齢者の投票率が低いことから、何らかの手立てが必要と考えています。例として、県内では限定的に時間

利用者増を図るための
今後の具体的施策は

質疑 男鹿山温泉の調査内容と、おが地域振興公社における今後の集客策等について伺います。

答 6月定例会で議決いただいた、男鹿山温泉開発調査業務については、温浴ランドおがから1kmほど離れた現在の源泉は、急坂により車両の通行が難しいため、施設周辺に源泉がないか放射能探査及び電磁探査調査を実施しました。調査の結果、現在の源泉周辺が最も有望な場所であったため、今定例会にその掘削費を補正計上したものです。また、多額の経費をかけて新たに掘削する理由の一つとして、市民の健康増進、健康寿命を延ばす目的で議案に提案しましたが、今後の集客策としては、男鹿山牧場などの周辺観光スポットの活用も視野に入れ、この後、議会にも相談しながら、集客力向上策について検討してまいります。

委員会・分科会の動き

各常任委員会・分科会は、付託議案と所管の予算案を審査し付託議案については、原案のとおり可決すべきものと決しました。
質疑のあった主な事項は、次のとおりです。

総務

質疑 第3次行政改革策定の今後のスケジュールについて伺います。また、行政改革を進めるにあたっては、財政面が重要ですが、今後の中期財政見通しについて、どのように考えているか伺います。
答 現在、関係各課から見直し内容を提出してもらい、取りまとめている状況であり、今後、幹事会及び本部会議を開催し、大綱の案を作成して、11月下旬までには議会へ示して協議してまいります。また、現行の住民サービスを維持するためには、平成28年度で約7000万円、平成29年度で約4億2000万円、平成30年度で約5億9000万円の財源不足が生じ、財政調整基金を活用しながら予算編成に取り組みますが、平成28年度

以降の収支については、非常に厳しくなるものと試算しています。
質疑 男鹿市公共交通総合連携計画策定の進捗状況等について伺います。
答 計画策定にあたって、委託業者からは10月31日までに計画素案と各路線の運行費用試算結果を提出してもらうこととしており、9月中旬に、全路線バスへ乗車しての乗降調査と利用者へのアンケートを実施することとしています。また、全国の他の自治体で成功している事例等も研究し、本市に最適な運行形態を提案してもらおうこととしています。計画の決定機関である男鹿市地域公共交通活性化協議会の委員の方々へは、逐次、これらの情報等を提供しながら、計画策定に向けて取り組んでいます。

教育厚生

質疑 国民健康保険税を引き下げるためには、健康行政を充実させる必要があるが、そのための施策展開について伺います。
答 市では医療費抑制を図

るため、健康診査等の受診率向上を目的とした施策展開のほか、年2回対象者に、ジェネリック医薬品の採用割合を高めていただくよう文書で通知しており、通知した翌月には調剤費が下がるなどの効果も見られることから、今後引き続き取り組んでまいります。また、国保の現状を理解していただくとともに、医療費削減の意識高揚を図るため「男鹿市のこくほ」というパンフレットを被保険者の方々に郵送しており、特に重複受診が見受けられる方々については、保健師が直接訪問して指導するなどの対策を講じているところです。

質疑 みなと市民病院の救急外来体制について伺います。
答 現在、みなと市民病院では常勤医師13名と秋田大学第二外科から応援をいただき、通年で救急外来を医師1名で対応しています。救急外来は様々な症状の患者が搬送されてきますが、緊急手術を要するなどのケースでは、専門分野以外の医師では対応が困難なことから、近隣の総合病院に搬送しているのが現状です。当直割合については、医師1

産業建設

人、月2回から3回程度となつていことから医師の疲労度は高く、救急医療体制を複数の医師で対応することは、現状では困難で、対応策として非常勤医師が当直の際には後方支援体制として内科医が自宅待機し、緊急の場合には直接治療を行うなどの対応をしているところです。

質疑 来年4月、企業局と下水道課を統合し地方公営企業法を全部適用させることの具体的なメリット、デメリットについて伺います。
答 スケールメリットにより人員削減が可能と考えています。また、現在、下水道課職員に関わる業務は、様々な部署の職員がかかわっているため、逆に負担となる部分もあります。

質疑 今年度の道路維持予算額が、昨年度までの予算額と比較し少ない中で、今後の補正予算措置に対する考え方について伺います。
答 道路維持費については、一般財源のため、財源が限られていきます。今後、財政状況を見極めながら協議してまいります。

質疑 男鹿山温泉掘削事業について、工事内容が掘削工事

やポンプ設置工事等多岐にわたる事業だが、どのように発注するのか伺います。
答 工事発注までの期間が大変短いため、現時点では一括発注を考えていますが、今後検討されるものです。

質疑 掘削後、これまでと同じ揚湯方法では、毎年ポンプの入替え費用が発生するのではないか。
答 これまでは既存の管の中に細い鋼管を入れた二重管になっていました。このため管の口径が小さく、温泉ガス対策のとれない小さいポンプを使用していました。今回の事業後は、温泉ガス対策をとれるポンプを使用することから、頻繁なポンプ交換が不要となり、維持管理の軽減化が図られます。



災害箇所での現地調査を行いました

陳情

- 違法な臓器生体移植を禁ずることを求める陳情書
- 母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望書
- 経済・雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書採択に関する陳情書
- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情書について
- 地方税財源の充実確保を求める意見書の提出について「緊急事態法」の早期制定

を求める意見書提出に関する陳情

意見書

- 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書
 - 経済・雇用対策強化のための地方財政の充実を求める意見書
 - 「地方税財源の充実確保」を求める意見書
- 3件とも可決されたので、市議会の意見として、政府関係機関へ送付しました。

議会の豆辞典⑪

閉会中の継続審査

議会には、本会議に提案された案件について、その会期中に結論が出なかつた場合、会期末をもって審議未了廃案となる「会期不継続の原則」があります。案件によっては、その会期中に可否の結論

を出せない場合もあります。このような時には、審査を付託された委員会からの申し出に基づき、「閉会中の継続審査に付する」議決を本会議において行うことで、閉会中も審査または調査を継続することができま

議員は公職選挙法により、選挙区内で答礼のための自筆によるものを除き、年賀状などのあいさつ状を出すことはできません。皆さんのご理解をお願いいたします。

市議会議員一同

平成25年12月定例会日程（予定）

月	日	曜日	会議名	主な内容
12	5	木	本会議	市長提出議案上程（提案理由の説明）
	9	月		一般質問
	10	火		一般質問
	11	水		議案質疑、常任委員会付託、予算特別委員会付託
12	木	予算特別委員会	付託議案の審査・分科会設置	
12	13	金	常任委員会・分科会	付託議案等の審査・現地調査 (総務委員会・教育厚生委員会・産業建設委員会)
	16	月		
12	19	木	予算特別委員会	各分科会委員長報告、質疑、討論、表決
			議会運営委員会	最終日の運営について
			本会議	各委員長報告 (総務・教育厚生・産業建設・予算特別) 質疑、討論、表決

交通安全啓発を実施

交通安全推進議員連盟

市議会交通安全推進議員連盟は9月27日に恒例の交通安全啓発を実施し、各議員は3班に分かれ市内の保育園等を訪問し、園児たちに交通安全の大切さを呼びかけました。



編集後記

▼異常気象が当たり前の気象状況になってしまった昨今ですが、今年も全国各地で猛暑が続いたかと思えば、暴風、竜巻、大雨が連続しました。本市でも台風18号により、大きな被害が出ました。被災された皆様には、お見舞い申し上げます。激甚災害に指定され、1日も早い復旧が必要で、農作物の収穫も終わりで、今年の作柄はいかがでしょうか。

▼議会では、昨年引き続き、市内9カ所で議会報告会を開催しましたが、時期的なこともあったのか、参加者が少ないのが残念でしたが、積極的な意見や地域要望等が出されました。その課題解決に、市当局と力を尽くしたいと存じます。

▼今年度も後半に入りました。議会として地域防災計画及び行政改革大綱の見直しのほか、地域公共交通総合連携計画等重要課題を市民の立場からしっかりと審議していきたいと存じます。

▼これから冬に向かって、健康に気をつけ、元気に楽しく毎日を過ごしていただきたいと存じます。（佐藤巳次郎）